



1月5日 球磨村消防団出初式が総合運動公園で行われました。午後からは小雨降る中、日頃の訓練の成果を十分発揮していました。（写真は放水競技のスタートのようす）

目次

12月の定例会	2~3
一般質問	4~9
新年の行事	10

球磨村世帯数 1,532世帯
人口 3,979人 男：1,880人 女：2,099人
(平成28年1月1日現在)

土地、立木を1,514万円で購入へ

三ヶ浦簡易水道水源地周辺を 保全目的に



大無田地区にある三ヶ浦水源地

例の制定、球磨村税条例の一部改正、球磨村簡易水道事業統合に関する条例の制定、また、予算関係で平成27年度一般会計補正予算、また、工事請負契約の変更、議員発議として、T P P大筋合意の情報公開と国会審議の徹底を求める意見書案、合計6議案を上程しました。

定例会初日の14日は、まず人吉下球磨消防組合議会の報告、9月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会、次に、議案では、条例関係で、個人番号利用のための条例の制定、球磨村税条例の一部改正、球磨村簡易水道事業統合に関する条例の制定、また、予算関係で平成27年度一般会計補正予算、また、工事請負契約の変更、議員発議として、T P P大筋合意の情報公開と国会審議の徹底を求める意見書案、合計6議案を上程しました。

第7回12月定例会は、12月14日から18日までの5日間の日程で開催されました。執行部からの議案は、条例関係3件、平成27年度一般会計補正予算1件、工事請負契約の変更1件、また、議員発議による、「T P P大筋合意の情報公開と国会審議の徹底を求める意見書案」1件、合わせて6議案を審議、いずれも原案のとおり可決しました。
一般質問では、6人が登壇し、各種施策や行政課題について執行部の考えを質しました。

一般質問



15日と17日の一般質問には、田代利一議員、犬童勝則議員、多武義治議員、小川俊治議員、高澤康成議員、舟戸治生議員の6名の議員が登壇。農業振興、台風15号の被災状況、村長4年間の感想と今後の課題、T P P大筋合意を受けての対応、消火力強化における村の取り組み、球磨村の創生など一般質問を行いました。(詳細は4頁～9頁に掲載)

条例関係

今回制定された、「球磨村行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例」は、法律の制限を受ける特定個人情報について、役場内業務での連携において必要となる場合は、その特定個人情報について、条例に基づく取り扱いを可能とするというものです。

「税条例の一部改正」については、地方税法等の改正によるものです。

「球磨村簡易水道事業統合に伴う関係条例の整備に関する条例」は、村の4つの簡易水道事業を統合し、「球磨村簡易水道事業」として一本化するもので、国庫補助金による

水道施設の改修等の場合などに要件となるものです。

予算関係

補正予算関係で

一般会計の主なものは、三ヶ浦地区簡易水道の大無田水源一帯を保全するための土地及び立木を取得するための

経費として、1,514万円、電源立地地域対策交付金を活用したダンプトラック等の購入に518万円、球磨村森林組合が第二製材工場横に計画している木材乾燥施設などの整備事業に対する補助金として、1億3,563万円、昨年の台風15号による復

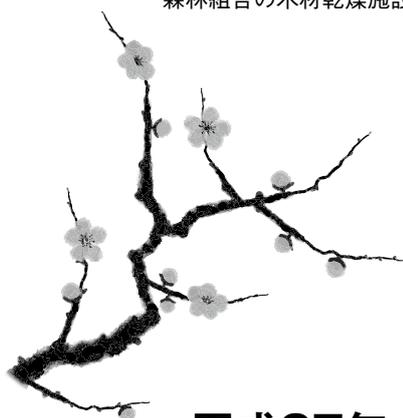
旧事業費として2,198万円、橋、道路など公共施設の維持、修繕等に、1,050万円、球磨中学校体育館の天井、更衣室、トイレなど老朽化による改修の設計委託費として、968万円など合計で、2億3,494万4千円を追加し、歳入歳出総額39億2,558万1千円となりました。

契約関係

工事請負契約の変更では、庁舎耐震改修・増築工事に係る契約額の変更に伴い議会の議決を求めたものです。



森林組合の木材乾燥施設予定地（松野地区）



平成27年12月定例会 議案等の審査結果

番号	件名	審議結果
議案第39号	球磨村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定について	原案可決
議案第40号	球磨村税条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第41号	球磨村簡易水道事業統合に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第42号	平成27年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
議案第43号	工事請負契約の変更について	原案可決
発議第5号	TPP大筋合意の情報公開と国会審議の徹底を求める意見書案	原案可決

村駅伝大会のコースと開催時期の変更を

【答】 体育協会の理事会や分会長会議で決めている



田代 利一 議員

- 質問事項**
1. 農業振興について
 2. 駅伝大会について
 3. 通学路について

田代議員 村民の所得向上対策で、村は7種類の振興作物を奨励している。取り組みの状況と成果は。

柳詰村長 現在、クリユタカやアマナガトウガラシなど、7つの品種を村の振興作物としている。そのほとんどは、転作の作物として作付けされている。増加傾向にある品種もあるが、作付け面積が少なくなっている品種もあるので、見直しも必要ではないかと考えている。

田代議員 葉草のミシマサイコは、村内でも作付けが増えているように気がする。球磨郡内でも、規模を大

きく栽培し高収入を上げている人もいるようだ。ミシマサイコに対する村長の考えを。

柳詰村長 あさざり町で栽培を始めた頃より、球磨村でもどうにかできないかと思っていた。ある町では、7億円あまり売上げていると聞いている。村民の所得向上につながるよう、村としても取り組んでいきたい。

田代議員 地域の抱える問題に、鳥獣被害がある。自家用野菜を作るのも大変な状況で、狩猟者も高齢化で捕獲には限度がある。後継者育成を急ぐ必要があるが。

柳詰村長 狩猟者の確保は、銃所持のための試験が大変厳しくなっている。村としては、わなの免許取得を進めている。試験の案内を広報紙などで紹介しているし、必要な経費も補助しながら、狩猟者の増加を図っている。

田代議員 次に、11月1日に8チームの参加で村駅伝大会が実施された。以前、1月に行われた頃には応援の人も多く活気ある大会だった。走る人も

元気づけられたと思うが、最近の大会は、本当に寂しいものになっている。どのように感じているか。

柳詰村長 大会も41回を数え、伝統ある村のスポーツ行事として定着している。体育協会の行事は、理事会を開催し、実施事業や時期など分会長の意見をいただき決定している。1月から11月に変更した理由として、1月開催は、出初式などの行事があり負担が大きいこと。11月開催は、12月中旬に行われる球磨一周市町村対抗駅伝の選手選考ができるということがある。

田代議員 駅伝コースは、以前の日当地区からのスタートに変えてほしい。理由は、福祉センター「たかおと」スタートでは、選手と役員だけで、応援する人が日当地区スタートとまったく違うからだ。また、市町村対抗駅伝の選手選考にもなっていないと思うので、以前の1月開催に戻すべきだ。

柳詰村長 体育協会の行事は、協会の理事会や分会長会議で決めている。地域での意見などあれば、会議で発言していただければと思っている。

田代議員 次に、通学路の歩道の未整備区間の把握や、今後の整備計画の説明を。

柳詰村長 村としても、通学路の危険な所の早期改修に努めている。国道、県道においても、県に早期改修の要望を重ねていく。



11月に行われている駅伝大会「ゴール！」

集落営農事業への取り組みは

【答】進んでいないのが現状



犬童 勝則 議員

質問事項

1. 集落営農事業
「人、農地プラン」について
2. 松谷棚田オーナー制度
3. 農業共済掛金助成の見直し

犬童議員

熊本県が進めている地域の農地と農業を守っていく「人、農地プラン」では、土地利用型農業の生産コストの軽減や、効率的な土地利用を図るための生産組織の育成を進めているが、本村の中山間地域での米の単作地帯では、集落営農組織が進んでいないのが現状である。村長の集落営農事業についての考えは。

柳詰村長

集落営農には、共同利用型集落営農と集落農場型集落営農のタイプがある。本村においてどのタイプがいいのか。地域によって異なる

と思うが、進んでいないのが現状である。

犬童議員

本村においても、多くの集落が人と農地の問題を抱えている。地域座談会を含め、これまでに行政中心の指導はあったのか。また、これから行なう予定はあるのか。

永椎産業振興課長

これまで営農座談会は実施してきた。集落営農組織の話があれば、説明会をするつもりだ。

犬童議員

10月には、農業競争力強化整備事業の会議があったが、進み具合は。

永椎産業振興課長

地域の合意のもと、いろんな整備計画を立てる必要となるし、協議しながら進めていく。今のところ意思表示をする前の段階となっている。

犬童議員

この県営事業においては、受益面積、集積率、事業スケジュールも5年とかなりハードルも高いようだが、今後検討する点は。

永椎産業振興課長

長期的な計画であるので、地域の同意が一番だと思っている。

犬童議員

松谷棚田、オーナー制度の田植え、稲刈りに村長も参加されたようだが、松谷棚田の景観も含め参加された感想を伺う。

柳詰村長

この一年間で松谷棚田の景観も棚田支援員によってよみがえったし、訪れた県の職員の方にも

立派になったと褒めていただいた。これからも、球磨村の大イベントとして定着させていく。

犬童議員

オーナー制度も一年目という事で課題も多かったようだ。ソバも棚田に耕作されたようだ。六次産業化も含め、これからの方向性を伺う。

金栗企画振興課長

棚田再生プロジェクト事業で行なったわけだが、県南フードバレー構想のアグリビジネスセンターと相談し、商品化して行きたい。そば打ち体験は交流館「さんがうら」を予定している。

犬童議員

台風5号の農産物の被害状況を伺う。

永椎産業振興課長

梨全体で減収量76トン、被害額が、1,843万円、栗全体で減収量21トン、被害額が1,059万円。

犬童議員

これから、いつ自然災害が発生するかわからない。生産意欲の減退にもつながりかねないので、農業共済掛金助成の見直しはないか伺う。

柳詰村長

球磨村の特産品の梨、栗についての掛金の助成は、現在考えているところである。中身については、来年に向けて検討させていただく。

球磨村の今後の農業は



新教育長を早く任命を

〔答〕年明けからと思っている



多武 義治 議員

- 質問事項**
1. 村長4年間の感想と今後の課題
 2. 学校教育の広域化の考え

多武議員 9月議会で、村政は継続が必要との理由で、村長2期目の挑戦を明言された。村長に就任して、この4年間の感想は。

柳詰村長 光陰矢のごとし、本当に早かったという気持だ。これまで、共助の村づくりなど公約の7つの政策を、一朝一夕に答えが出るものではないが、着実に前進してきたと思っている。

多武議員 球磨村は、農林業など主要産業の振興や増え続ける医療費の抑制、地方創生の活性化策を中心とした人口減少策や一勝地温泉「かわせみ」の運営など課題も山積みだが。

柳詰村長 「かわせみ」は、従業員不足の解消や、働きやすい職場づく

りを進めながら、抜本的な再生に向けた経営改革をやらなければならぬ。また、人口4千人を割ってしまった今、移住のための住宅建設の必要性を感じている。全体的には、仕事人が人呼び、人が仕事を呼び込む好循環を確立することで、新たな人の流れを生み出すなど、球磨村創生に向けた取り組みを進めなければならない。

多武議員 課題の一つに村民の所得の向上がある。新聞で、球磨村が日本一所得の低い村との見出しがあった。都会に多い1人、2人世帯の場合、そのまま所得が反映されるが、球磨村のような2世代、3世代家族で扶養が多い場合は、控除され所得が低くなるのも一つの要因だと思ふ。しかし、全体的に低いというふうには感じているが。

柳詰村長 新聞は、株で所得が上がった都会に比べ、アベノミクスが地方まで行き届いていないというのを知らせようとの想いがあったものと思っている。村内には、高額な所得者も多くおられないし、大きな企業もない。議員時代から所得の向上と言ってきたが、今になってもむず

かしい状況だ。今後、村内に企業が住所を置いていただくよう期待している。

多武議員 農林業振興以前にやらなければならぬのが、動物による山林や農地への被害対策だ。特に、サルによる被害が近ごろ目につくが。

柳詰村長 猟友会の方の高齢化に伴い、村民の方にも、わなの免許をとっていただきたいと思っている。サル被害も、各町村の状況を見ながら捕獲補助も上げていかなければならない。

多武議員 増え続ける医療費の抑制に、ジェネリック医薬品のパンフレットを配布し対応しているが。

柳詰村長 他にも、保健師、栄養士でチームをつくり、村内に向き健康指導を行っている。食生活改善により、必ずや成果が出ると思っている。

多武議員 次に、球磨村のような小さな自治体の教育委員会が、はたして学校指導ができていくのかと、教育委員会の学校教育を切り離し、一定のまとまりがある市町村で運営する教育委員会の広域化の考えを聞こうかと思っていた。しかし、教育長が辞められたので答弁は要ら

ないが、辞められた経緯を。

柳詰村長 11月20日に辞表の提出があった。慰留を申し上げ村長預かりとしていたが、一身上の都合で辞めたいとのこと、11月30日に受理した。その後、中井教育委員に教育長職務代理者の辞令の交付をしたところだ。

多武議員 多くの先生が、来年3月の異動に向けての大切な時期でもあり、子ども達のためにも早く新教育長を任命していただきたい。

柳詰村長 村民の皆様に変な申し訳なく責任を強く感じている。早く決めた方が、年明けになってからと今のところ思っている。



空席となっている教育長

TPP「大筋合意」を受けての感想は

〔答〕農林業を基幹産業とする本村での影響を懸念



小川 俊治 議員

- 質問事項**
1. 農業分野における地方創生に向けての方向性
 2. TPP「大筋合意」を受けての対応

小川議員 球磨村人口ビジョンを受けての今後の村の姿、形はどのようなイメージか。

金栗企画振興課長

今後も村税など

自主財源20%台、交付金など依存財源70〜80%台と厳しい財政運営は続くと思われる。現在の高齢化率は40.6%であり、45年後の2060年、本村の総合戦略では2,267人を将来展望として掲げる。集落再生としての国が進める施策の一つである小さな拠点づくりが考えられる。村としては三ヶ所を目標として

いる。

小川議員

農業就労者も減少すると思われ、5年後10年後の就労者は。対策として行政の積極的な関与が必要だと思いが。

柳詰村長 総人口の減少とともに農業就労者も減少すると思われる。村の地方創生総合戦略は、これまでの村総合計画基本計画の内容をベースとして策定してきている。農業委員会とも連携し、耕作放棄地の減少に努め、小規模農家の支援の充実を図る。



TPPの農業への影響はどうか

小川議員

農業振興施策は基本計画で示されているが、高齢化率が早まる中で具体的な内容でさらに踏み込んだ方向性を示すべきではないか。

柳詰村長

集落営農など地域からの要望があれば村として説明していく。

小川議員

村の単独補助の見直しについて、これまでも多くの要望があり、見直すとの方向はあるが考えは。

柳詰村長

財政事情もあり、多くの補助メニューがあり急な見直しは大変な労力がある。財政と見比べながら検討していく。

小川議員

前年度の予算では残

が出ています。前年度と本年度の執行状況と100%執行できる内容と見直し時期を示されたい。

永椎産業振興課長

産業振興補助金の執行状況は、26年度79.1%、27年度は現在37%となっている。

小川議員

TPP環太平洋経済連携協定の「大筋合意」がなされたが、大筋合意と衆参農林水産委員会での決議の整合性について率直な感想は。

柳詰村長

聖域とされる米、牛、豚などの農産物の関税が大幅に下げられたり、新たな輸入枠が設けられたことは、決議は厳密に言う守られていないようである。農林業を基幹産業とする本村での影響が懸念される。

小川議員

共同通信社のアンケートの中で、「自治体独自の対策」に答えられているが、その内容は。

柳詰村長

「今後検討する」とした。まだまだ不透明な部分もあり、今後村としても検討したい。

小川議員

通学道路でもある村道にガードレールの要望があるがまだ設置されていない。要望が出ているが対策の考えは。

大阪間建設課長

ガードレールの設置は高さ、幅員など勘案しながら現地を確認し、予算状況を見ながら設置していきたい。

球磨村における消防力強化は

【答】 財政負担増など課題はあるが、災害に対応できる消防力の強化は必要



高澤 康成 議員

質問事項

1. 消防力強化における村の取り組み
2. 共助の村づくりと最も美しい村連合加盟について

高澤議員 以前、熊本県の消防力強化策として、県南の4消防本部広域化計画が進められ、諸般の都合で平成24年10月に頓挫した経緯がある。

その後、平成26年に人吉球磨地域消防力強化検討委員会が人吉球磨の1市4町5村と管内2つの消防組合をメンバーとして開催されたが、はつきりとした最終報告は出ていないと記憶している。

当村は、災害に強い村づくり実現に向け、国道沿線の球磨川氾濫に備えた対策や早期避難に対する対策を行っている。

しかし、山間地域の災害対策や、

急を要する搬送対策等、課題があるものの、対策を講じるまでには、至っていない状況である。

人吉下球磨消防本部の現状・課題には、地域防災力の要となる消防団が減少しており、消防職員数もギリギリの状態では、増加・多様化する、消防ニーズへの対応が難しい。分署の待機人員不在が多く、救急出勤中に火災等の災害があれば初期対応遅れの可能性がある。

本来、消防組合は、「消防は市町村がその責任を果たす」ことから設立されたもので、目的は「消防は地域住民の生命・身体・財産を火災から守り、各種の災害を防止し、災害による被害を軽減させ、災害などによる傷病者の搬送を適切に行う事」であり、その目的を迅速に、かつ適切に行う為の整備や対策は各町村の取組次第であると考ええる。

そこで、球磨村の消防力強化の為の現状と課題・今後の対策について伺う。

柳詰村長 球磨村は、八代・水俣・芦北の消防本部と隣接しており、大規模な浸水崩壊が予想される危険度の高い村として効果があると判断し

ており、協議会を白紙に戻すことになり残念に思っている。財政負担増など課題はあるが、火災・地震・風水害に対応できる消防力の強化は必要であると考えている。

高澤議員 消防団員のあり方や処遇に対し、国も報酬の引き揚げが必要としている。人吉球磨で一番低いが。

宮本総務課長 消防団に対しての待遇改善は当然の事と思っている。地域と一体となった消防力の強化、処遇について十分検討していかなくてはならないと思っている。

高澤議員 次に、日本で最も美しい村づくりや、共助の村づくりについて、これまで一般財源から予算を計上し、国道219号線を中心に景観整備をされている。

本来の目的は、地域住民が自らの地域に誇りを持つ。地域の活性化を図り、地域の自立を推進する。地域資源の保護と地域経済の発展に寄与するものであり、本来の目的が本来に達成できるか疑問に思っている。

今回、球磨村まち・ひと・しごと創生総合戦略として美しい村推進事業費・共助の村づくり事業として先行型へ申請されており、今後事業を



今年の出初式は団長以下156名

進める事で、この球磨村の将来的発展があると考えているからこそ、総合戦略に唄った事と思う。今後、最も美しい村実現の為の戦略・共助の村づくり実現に向けた戦略について伺う。

柳詰村長 共助の村づくり支援事業では、7項目で活動を進めている。村内の景観美化に対する意識向上と地区内の連帯感の向上、村内外住民の交流が図られている。

日本で最も美しい村づくりでは、本村の豊かな資源、地域の宝を磨き上げ、その魅力を村内外へ発信しているところである。美しい心が美しい景観をつくり、その美しい景観が次世代の心を育てるような真の美しさを実感できる村づくりを進めていく。

村外からの移住者への家賃の減免は

答 定住促進として前向きに検討する



舟戸 治生 議員

質問事項

1. 若い世代が誇りを持てる村づくりに
2. 獣害対策について
3. サル被害対策について
4. 生活環境の整備、水環境の保全
5. 障害者福祉について

舟戸議員

定住促進団地の整備による若者の定住人口及び世帯分離による出生率の低下、就労環境の変化、共稼ぎ世帯の増加についての考えは。

柳詰村長

村の総人口は減少しているが、定住人口は増えている。共働き世帯の増加は、出生率の低下を招き少子化社会となり問題化している。子育てを家族で支える3世帯同居、近居がしやすい環境づくりも

必要。

舟戸議員

3世代で暮らす住宅の新築、増築での助成の考えは。

柳詰村長

国の1億総活躍施策に3世代の定住、近居についての支援メニューがあるが、内容がまだ見えないう状況で確認しながら村の政策の方向性を決めたい。

舟戸議員

村外からの新婚世帯転入者に、応援事業として持家につながる施策と助成はできないか。

柳詰村長

村営住宅の建設について、財政が許せば急ぎたい。村外からの移住者の家賃の減免など定住促進面での支援は、前向きに検討したい。

舟戸議員

新婚世帯のマイホーム新築の際、村の木材活用での援助はできないか。

柳詰村長

今回の地方創生総合ビジョン、あるいは1億総活躍関連の中で精査し、対策をとる。

舟戸議員

新たなネーミングの事業について新型交付金の認定の対象にならないか。

金栗企画振興課長

平成28年度の施策としての詰めを行い、策定予定の便利帳に差し替える。

舟戸議員

野生獣の増加を抑制し、農産物被害を減らす対策は。

永椎産業振興課長

収穫しない農産物、家庭から出る野菜くずの放置など、無意識のうちに餌場をつくっているのではないかと思われる。餌場にならない環境を作ることが対策の1つと考える。

舟戸議員

野生獣の潜む場、餌場にならないための住民指導はされたのか。

永椎産業振興課長

具体的な対策としての指導はしていない。

柳詰村長

サル被害対策について、群れや行動環境の調査はされたのか。また、捕獲要請に対して迅速に対処するために村職員に銃猟免許等の習得の考えは。

永椎産業振興課長

村としての独自調査は行っていない。職員の銃猟免許等も考えていない。

舟戸議員

近江原（水篠地区）のメ

ダカなど水辺の動植物の生息、生育について、環境保全の立場からの対策は。

柳詰村長

興味本位的な捕獲はあってはならない。保護活動や生息地の保全が必要である。

舟戸議員

視覚障害者へのガイドヘルパー派遣の現状、利用時間と利用料は。

柳詰村長

球磨村障害者移動支援事業実施要綱を制定し、移動支援事業所として4事業所を指定し、2名の申請に対して1名が利用している。



作物もネットなしでは作れない状況

新年の行事

新成人のつどい

1月4日 球磨村新成人のつどいがコミュニティセンター清流館で行われました。今年の新成人の対象者は34人で、球磨中時代の恩師の先生や一人一人の近況報告で、終始なごやかな雰囲気でした。



今年の新成人は34人



一人一人の近況報告



村民憲章の唱和



1月5日に行われた消防出初式では、通常点検、操法競技(写真上)、放水競技の3部門で競われ、総合優勝1分団、2位6分団、3位2分団の結果でした。

消防出初式



通常点検は規律正しく



狙いを定めて！放水競技

編集後記

あけましておめでとうございます。

今年も「議会だより」をご愛読いただきますようお願いいたします。

さて、正月はいかがお過ごしでしたか。私は、元旦に近くの神社に参拝。そして、毎年のように議会だよりの原稿作りをやろうと……。

しかし、こたつの上には正月料理とアルコール……。なかなか進みませんでした。どうぞ、今年も健康第一でお過ごし下さい。

(多武 義治)

議会広報特別委員会

委員長	多武 義治
副委員長	犬童 勝則
委員	小川 俊治
委員	高澤 康成

